

令和4年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	23	学校名	静岡県立吉原高等学校	記載者	平井 剛
------	----	-----	------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	基礎・基本的知識及び技能を習得させ、思考力、判断力、表現力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「他者の授業の良いところを自身の授業に取り入れた」と答える教職員 80% ・授業で、「理解確認をしている」と答える教職員 100% ・「授業がわかる」と答える生徒（保護者）80%以上 ・公開授業 年間2回以上 ・「ICT 機器を活用し授業を展開できる」と答える教職員 100% ・「学びの基礎診断」を学習指導に役立てている教員 80% 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の授業研究による効果により授業がわかる生徒は、昨年度 78.0%から今年度 82.6%となっている。上昇していることから、高く評価できる。 ・「学びの基礎診断」の具体がよくわかりませんが、生徒の実態を把握した上で授業を構想することが大切です。したがって導入も展開もクラスによって異なるので、48.1%というのは少し悲しい。 ・公開授業が年3回実施は素晴らしいですね。ぜひ参観者の教科を超えた素直な意見交換を期待したい。 ・先生方の授業改善への努力もあり授業が分かる生徒の割合が増えているのは素晴らしい。ただ、ICTのスキルに関しては少し疑問を感じる部分もある。授業展開できるという割合が100%となっているが、どのレベルなのかが判断できない。今後は更なる研修でICT活用の範囲・質の工場を進めて欲しい。デジタル化が進めば様々な分析もすすみ、生徒の行動傾向や学習状況から個別対応が可能になると思われます。 ・「ICT機器を活用し授業を展開できる教職員」100%の目標に対し、81.4%の結果であったが、高齢の教職員にとってICTを使いこなすのは困難と考える。ICTにたけた教職員や学科毎でICT活用術の事例紹介や活用の仕方を学ぶ機会を与えてあげてほしいものだ。生徒たちに視覚で分かりやすい、おもしろい授業をすることで興味をもたすことは必要であるが、教職員にとってもICT活用により授業の効率化や省力化になることを認識してもらうべきである。 ・先生方の工夫や努力のおかげで「授業がわかる」と答える生徒（保護者）が80%以上という結果につながっていると思います。思考力、判断力の育成はどのような場面でも必要となってくるので、今後も工夫していただきたいです。

イ	認め、褒め、励ますことで自己肯定感を高め、他者との良好な関係を築く力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「挨拶ができています」と答える生徒 100%、保護者 90%以上 ・「自分は価値ある人間である」と答える生徒の割合 70%以上 ・「先生はよく褒め、認め、励ましてくれる」と答える生徒（保護者）85%以上 ・「生徒をよく褒め、励ますように心がけている」教員 100% ・自分の思いや考えを言語化できる生徒 100% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議委員が来校した際にも、生徒は笑顔を絶やさず、学外者にも積極的に挨拶をしてきている。全体的に生徒の自己肯定感を高め、他者との良好な関係を築く力を育成できている。 ・「自分が価値ある人間である」ことを各教科の授業の中でも得られるような仕掛けを是非してほしい。これにより教科に対する学習意欲も高まると思う。 ・「イ」の評価としての項目ですが、自己肯定感や相手を認めることと合意形成をどのように作っていくかは社会全体の課題で重要視すべき課題であり、自分の思いを言葉で伝える能力を付けるための訓練も不可欠だと思います。この点をもう少し強化して欲しい。 ・「自分の思いや考えを言語化できる生徒 100%」に対して結果は 80.7%でbの自己評価であったが、成果指標に 20%未達でb評価は甘すぎるのでは？そもそも 100%の目標設定が厳しすぎであり、言語化というのが理解できない。自分の悩みや考えていることを家族・友達・教師などに伝えたことがあるかどうかという目標値に変更してはどうでしょうか？ ・吉原高校の生徒は昔から本当に良い挨拶ができていますので評価したいです。 ・先生に認められ、褒めてもらいたいと思う生徒が、励ますように心がけている先生の 100%に対してやや少ないので、1人1人の生徒が励まされていると感じるようお願いしたいと思います。
ウ	自主・自律の精神を育み、自己決定する力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の中心」が「自分で必要と判断した学習」である生徒の割合 80%以上 ・1週間の家庭学習時間の一日平均が、1・2年生 2時間以上、3年生 2.5時間以上 ・自ら進んで授業に取り組む生徒の割合 80%以上 ・学校行事満足度 70% ・ボランティア実践。参加者に事前指導を2回実施し意識を高め、単位習得率 100%とな 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・常葉大学主催の多言語レシテーション大会で、中国語ペア部門1位、スペイン語ソロ部門2位など高い成績を示している。その他にも様々な活動に積極的に取り組んでいる。自主・自律の精神を育み、自己決定する力を育成しようとする取り組みが見られた。 ・授業参観をさせていただいている時、生徒の反応や姿勢を見ているのですが、受け身的ではありますが、しっかりと取り組んでいる様子に感心しておりました。 ・外に拓かれた講座への取組は学校の大きな特色にもなるすばらしいことだと思います。ぜひ発展させてほしいです。 ・主体的に家庭学習が進んでいるのは評価できる。ただ、進学校としてまた国際科のある高校として、英検の合格者が少ないのではないかと。学習方法の改善が必要かもしれません。

		<p>る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学主催の講座等への参加 20人以上 ・校内ビブリオバトル実施、及び校外ビブリオバトル大会出場(希望者) ・英語検定等の外部検定で CEFR B-1 以上取得 20%以上 ・「失敗しても努力し続けることができる」と答える生徒(保護者)の割合 80%以上 ・「部活動・生徒会活動は活発に行われている」と答える生徒(保護者) 70%以上 ・「部活動ガイドラインを意識している」と答える生徒・教職員 100% 		<ul style="list-style-type: none"> ・英検の合格者の増強や、他の検定にも、もっと積極的に挑戦する風土があってもいいのではないかと思う。 ・ビブリオバトルは、前項目「イ」の自分の思いを伝え理解者を作ることにも役立つので今年度できなかったのは残念。今後も是非活発に取り組んでほしい。 ・成果指標をクリアしている項目が多いため A 評価で良いと思います。当日の評議員会でも議論となりましたが、国際科と言いつつも現状は英語科としての活動が中心となっている中で英検 2 級合格者が 95 名中 19 名は寂しさを感じる。英語力の強化は受験にも役立つため合格するために何をすればいいのか生徒たちに積極的に指導願いたい。 ・「自主・自律の精神を育み・・・」。という取り組み目標の中で生徒の家庭での学習時間の成果指標値があるが、教職員が努力して達成できるもの(必要性を生徒に理解させることはできるが)他力本願になるため、次年度からの成果指標値からは削除したほうが良いのではないのでしょうか? ・部活動に専念している 1・2 年生は自分で勉強に取り組む時間というのが非常に大切になってくると思います。取り組む姿勢が結果に繋がるということ、先生方が日々いろいろな形で努力してくださっているおかげで生徒も日々精進できていると思います。失敗しても努力し続けることができる生徒と保護者が 80%以上ということは大変素晴らしい、是非次に繋がるよう頑張してほしいと思います。 ・今年度はコロナ禍でもいろいろな学校行事が中止にならず開催でき本当に良かったです。
<p>エ</p>	<p>キャリア教育を推進し、他者に関わりを通して地域に貢献を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「研究や研究内容を取り入れた授業を実践できた」と答える教員 80%以上 ・「総合的な探究の時間」が進路選択に役立った生徒 90%以上 ・授業内容等に興味があって本校を選択した生徒の割合 80% ・「進路指導に関して学校と家庭が連携できている」と答える生徒(保護者) 75%以上 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間や魅力的な授業内容を具体的にどのように打ち出していくのかをご検討していただきたく思います。 ・多様な進路先が考えられる今の時代、とりあえず大学へ進学させればということにはならなくなっている気もします。 ・生徒とじっくり話をしてキャリア教育するには 1 年次から計画的なカリキュラムの見直しが必要となってくるかもしれません。しかしそれが吉高の特色のひとつになるかもしれません。 ・「ア」の項目にもあったように他者の授業を参考にしたり研究内容を授業に取り入れたり先生方の向上心は素晴らしいと評価しま

		<ul style="list-style-type: none"> ・外国の学校との交流が学習意欲の向上に繋がった 80%以上 ・研修が表現力向上に役立った生徒 80%以上 ・地域等へのボランティアへの参加 年間延べ 550 人以上 ・地域人材の招聘年間 10 回以上 ・各学期 1 回発行する新刊案内や図書館だより、図書館の利用促進により生徒の読書量が増え、「読書は自分を豊かにする」と答える生徒 70%以上 		<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一点、吉高の授業内容に興味があつて入学したという生徒が 6 割弱というのは少し残念。説明や PR が足りないのではないか。参考に、他の 4 割近い生徒は何を魅力に感じて入学したのか知りたいところです。 ・また、吉高は昔から JRC とかボランティアへの取り組みが良くできていてその伝統が受け継がれているのは嬉しい。只、そのボランティア活動が「郷土愛」に繋がっているかどうかは疑問もある。富士市という郷土をもっと知って、郷土を良くしたいと思うような人材育成がこれからの時代地方には必要かと思われます。 ・相互授業参観など教職員のスキル UP への動機づけを実施するとともに先進校視察や NPO 団体との共有で他校の良い面を吸収し、学校運営に反映させようとする取り組みを評価します。県内に 4 つある国際科をもつ学校とも連携を取り、お互いの悩みや良い活動を展開されていくことを提案します。 ・様々な研究等の授業を取り入れたことで、進路の選択に役立った生徒が 90%以上いるということは先生方の授業の工夫が結果になっていることと思います。一方進路指導に関して学校と家庭が連携できている生徒と保護者 75%以上というところで、先生が十分に指導していることがなかなか伝わっていないのではないのでしょうか。1 人 1 人が満足する結果に近づくよう引き続きご指導お願いいたします。
オ	<p>保健安全教育や教育相談活動を推進し、自己や他人の健康の保持増進に努める力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃参加 100% ・地域防災訓練参加率 100% (生徒・教職員) ・防災教育推進連絡会議年 1 回 ・いじめアンケート実施年 3 回 ・いじめの加害 0 件 被害 0 件 (アンケート調査) ・生徒からのいじめ防止の呼びかけ 年 1 回 ・長期欠席生徒の減少 ・教育相談だより発行 学期 2 回 ・新体力テスト優秀校入賞 ・SNS に関する問題行 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ加害 0 件、被害 0 件と目標達成している。学校の保健安全教育や教育相談活動の成果が発揮されたと思われる。今後ともいじめアンケートの実施や生徒からのいじめ防止の呼びかけを継続して行って欲しい。 ・いじめに関する加害も被害もないというすばらしい結果だと思います。アンケートだけでなく教師間のアンテナを高くし油断することなく見守ってほしいと思います。表面化してきた時には手遅れということが多いですから。 ・ルールやモラルに関して若者の意識が低下していることは社会全体の課題です。昨今の「闇バイト」では高校生のアクセスもあるようです。 ・アンケートの内容をもう少し深掘りしたものにすべきかと思われます。いじめ防止をどのように生徒から呼びかけていくのか、SNS

様式第5号

		<p>動0人</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全意識高揚指導 毎月1回 外部団体と連携した交通安全事業の実施 各学期1回以上 自転車整備店で年1回は整備する 交通事故死者 年間0人、負傷者年間10人以下 自転車指導カード交付枚数 年間100枚以下 			<p>の問題は本当に1件もないのか、甚だ疑問です。うわべだけを見ていたら危険なこともあるので、表に出にくい問題は、個人面談の時間など作っていく必要があると思います</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめアンケート結果で加害者・被害者ゼロの報告はこれまでの教職員の指導と生徒の人間性がすばらしいことを表しており、積極的にアピールすべきです。長期欠席者も若干名存在するようですが、いじめが原因ではなく別の理由が存在するんでしょうが、ご両親とも相談しながら学校に通学できるよう尽力願いたい。 近年はコロナ禍の中、地域防災訓練も実施されない場合があるが、地域によっては高齢者のみの住居が多かったり、体の不自由がきかない方がいらっしゃるなど避難や救助に高校生も大事な戦力になりえます。地域との共生という観点でも地域防災訓練への参加率100%を達成するよう指導願いたい。 いじめの加害0件、被害0件ということでほっとしています。いじめの問題はなかなか見えづらいかと思うので、これからも注意しながら見守っていただけると有難いです。長期欠席生徒の減少も評価すべきところと思います。事故が無いよう学校でもご指導よろしくお願い致します。
カ	<p>適切な事務の執行により信頼される事務室運営を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 監査・検査等による指示・指摘 件数0件 施設、設備、用具等の不備に起因する事故発生件数0件 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍という制限があるなか、教育活動・運営にご苦労があったことと思われます。引続き何卒よろしくお願い申し上げます。 同窓会組織や後援会組織の財力をお願いしたことは良いと思います。私もよくお願いしましたが、管理職ができる大きな役割と思います。 適切に施行されていると思います。施設・設備・道具の老朽化は怪我に繋がることもあるので洗い出しをしながら予算付けをお願いします。 監査・検査での指摘ゼロは当然と言えば当然であるが、お金の扱いに関しては一人作業とならぬようにして、発生防止に引き続き実施願います。 新しいトイレの工事や机を新しいものに変える等、時期等も考えてくださり感謝しております。
キ	<p>業務改善により本校生徒の成長に真に有効な</p>	<p>【職員集団の組織性、協働性（チーム吉高）の向上と教職員の自己有用感の醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全分掌が年度末まで 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 職員集団の組織性、協働性（チーム吉高）の向上と教職員の自己有用感を醸成するために、業務改善や有効な学校運営が実施されている。 学校の教職と話をする機会がなかったこと

様式第5号

	<p>学校運営を推進する。</p>	<p>に業務改善を報告できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業改善に役立った」と答える教員 90%以上 ・「部活動ガイドライン」の趣旨を遵守している部活動 100% ・時間外勤務時間前年度比 5%減 ・全教職員の年次休暇取得が前年度比増となる。 ・ホームページ更新 100 回以上 		<p>が少し残念でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務改善シートはとてもよい試みだと思いました。素晴らしいです。 ・先生方は良くやって下さっていると思います。部活含め働き方改革への対応を実践できるようにして、先生方の多忙感解消に尽力して頂きたい。 ・毎年異動されてくる教職員がおられると思いますので、前任校と吉原高校の学校運営の違い学校経営者は理解し、良い面を展開することでより良い吉原高校になっていただきたい。 ・学校が一体感を持って動いていることが良くわかります。ホームページが 100 回以上更新しているというところで情報が新しく学校生活の様子等が保護者にも伝わりやすく安心できると思います。
--	-------------------	---	--	---